

大麦情報 第5号

平成23年4月22日
射水市農業技術者協議会

1. 現在の生育状況 (4月13日現在)

昨年や近年より生育が遅く、出穂期は、平均4月30日頃と予想されます。

(4/13 大麦展示ほ8か所調査結果)

	播種時期	止葉展開期	出穂期	草丈 cm	m ² 茎数 本/m ²	葉齢	葉色 SPAD	幼穂長 mm
23年産	10/7	4/18頃 (4/15~21)	4/30頃 (4/27頃~5/3頃)	29.2	661	11.3	42.9	13.1
22年産	10/8	4/10	4/24	41.0	500	13.0	41.2	36.8
近年値	10/8	4/8	4/19	54.0	542	13.0	44.8	36.7

2. 赤かび病の防除について

地域により生育の差が大きいため、必ず生育状況を確認し、適期に2回防除を行いましょう。

<防除時期の目安>

	1回目			2回目		
防除時期	穂揃期(開花始め・出穂3日後頃) 5/3頃を中心に (4/30~5/6)			1回目防除の一週間後頃 5/10頃を中心に (5/7~13)		
粉剤	トップジンM 粉剤 DL	4 kg/10a	収穫14日前まで 出穂期以降 1回のみ	ワークアップ 粉剤 DL	3 kg/10a	収穫14日前まで 2回以内
液剤	トップジンM 水和剤	1000倍液 150 ℓ/10a	収穫30日前まで 出穂期以降 1回のみ	シルバキュア フロアブル	2000倍液 150 ℓ/10a	収穫14日前まで 2回以内

※トップジンMは、粉剤・水和剤あわせて散布は1回までです。

※赤かび病の防除薬剤は予防効果が高く、特に1回目の防除が重要です。

※収穫物中に赤かび病粒が1粒でも混入していると出荷できません。

※周辺作物や住宅地への飛散防止のために、早朝など風の弱い時に散布しましょう。

3. 排水対策の徹底について

排水溝に水がたまらないように、排水溝、排水口を点検し、手直しを行いましょう。

農薬の使用基準を厳守し、生産履歴は必ず記帳しましょう

【お問い合わせは】 JAIみず野本店・第2事務所・営農施設課 TEL 52-6805
高岡農林振興センター・農業普及第二課・射水班 TEL 26-8478 まで